

倚松庵（いしょうあん）秋の講演会 「谷崎三郎～鎖瀾閣（さらんかく）隠し階段の謎～」

神戸ゆかりの文豪・谷崎潤一郎がかつて居住した倚松庵で、秋の講演会を行います。

開催日

2025年11月29日（土曜） 14時00分～16時00分

開催場所

倚松庵（いしょうあん）

住所：東灘区住吉東町1丁目6番50号

開催内容

▼講演会のテーマ

「谷崎三郎～鎖瀾閣隠し階段の謎～」

▼講演者

たつみ都志（武庫川女子大学名誉教授）

▼講演内容

生涯40回以上転居した引越し魔の谷崎潤一郎。倚松庵（いしょうあん）をはじめ、ほとんどの家は借家でしたが、唯一谷崎が自分でデザインした家「鎖瀾閣（さらんかく）」が岡本にありました。30年前の阪神大震災で全壊したこの家は、再建直前に不可能になりました。この度、鎖瀾閣（さらんかく）の全容をデジタル写真集に残すにあたり、設計図を起す途上で大発見があったのです。それが隠し階段と裏玄関の存在でした。母屋に妻子を住ませ、自分は書斎（鎖瀾閣（さらんかく））にこもり、執筆と称して、一体誰を呼んでいたのか？その謎を語ります。

▼特典

オリジナル葉（しおり）プレゼント（予定）



鎖瀾閣



阪神大震災で全壊した鎖瀾閣

参加者募集の有無

募集あり（人数制限あり）

人数・組数：50人

申込方法

▼メール申込 isyouann@gmail.com 締切は11/14（金曜）

※どちらも住所・氏名・連絡先・参加人数（2人1組まで）を記入ください
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

▼往復はがき 倚松庵宛に郵送、締切は11/14（金曜）必着

宛先：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町1丁目6番50号

料金

無料

倚松庵について

倚松庵は、文豪・谷崎潤一郎が1936年から1943年まで居住し、松子夫人やその妹たちをモデルとした小説「細雪」の舞台にもなりました。「細雪」の面影が残る庵内には著書や参考文献等を集めた「谷崎文庫」を併設しており、文学の庵（いおり）として、市民や観光客に谷崎文学の世界に親しんでいただくことを目的に開館しています。鎖瀾閣（さらんかく）のVR写真集もご覧いただけます。

開館日 土曜・日曜・祝日（年末年始12/29～1/3除く）

開館時間 午前10時～午後4時

入館料 無料

市イベントページ（「おでかけKOBE」のURL）

<https://event.city.kobe.lg.jp/event/BwDQGxa3Yom0LESaIF3g>